マニュアル



smart:gate

コンテンツアウェアゲート

目次

smart:gateへようこそ	3
インストール	4
オーソライズ	5
ユーザーインターフェイス	6
ゲートの設定方法	7
ゲートパラメータ	8
インパクトコントロール	10
ゲート処理モード	11
プリセットとステート	12
設定	13

smart:gateへようこそ

smart:gateは、コンテンツに適応するインテリジェントなゲートです。このプラグインは、選択されたターゲットソース(ボーカル、キーボード、キックなど)の存在を自動的に検出し、その音源に焦点を当ててゲートを作動させます。

そのため、従来のゲートとは異なり、smart:gateは入力信号全体のレベルに依存せず、対象音源に属する信号成分のみに反応します。

このコンテンツ認識機能により、通常のゲートよりもはるかに安定し、パラメータ設定も簡単になります。また、対象外の信号が対象音源のレベルを超えても、信頼性の高い結果を提供します。

システム要件

CPU
Intel Core i5
AppleM1

RAM
4GB

オペレーティングシステム
Windows 10+ (64 bit)
Mac OS 10.12+

OpenGL Version 3.2+

⚠ smart:gate プラグインを正常にインストールするためには、管理者権限が必要です。

Mac OSX

Mac OSXの場合、インストールを開始するには、ディスクイメージsonible_smartgate_osx_x.x.x.dmgを開いてください。これにより、マウントされ、インストールパッケージの内容が表示されるFinderウィンドウが開きます。

システムにsmart:gateをインストールするには、インストールファイルsmartgate.pkgを実行してください。

インストーラーが必要な手順を案内し、smart:gateをコンピュータにインストールします。smart:gateは、オーディオプラグインのデフォルトの場所に自動的にインストールされます。

デフォルトフォルダ:

Audio Unit
/Library/Audio/Plug-Ins/Components/

VST
/Library/Audio/Plug-Ins/VST/

VST3
/Library/Audio/Plug-Ins/VST3/

AAX
/Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/

Windows

インストールを開始するには、ダウンロードしたzipファイルsonible_smartgate_win_x.x.x.zipをハードディスクに展開し、インストーラーを実行してください。

インストーラーが必要な手順を案内し、smart:gateをコンピュータにインストールします。smart:gateは、オーディオプラグインのデフォルトの場所に自動的にインストールされます。

デフォルトフォルダ:

VST3
C:\Program Files\Common Files\VST3\

VST
C:\Program Files\Common Files\VST\

AAX
C:\Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins

ライセンス方式

ライセンス方式は、マシンベースとiLok(USBドングル)の2種類から選択可能です。

www.sonible.com でユーザーアカウントを作成し、製品を登録することで、ダッシュボードにまだ表示されていない製品のプラグインアクティベーションを管理することができます。

マシンベース

ライセンスキー1つでsmart:gateを、固有のシステムIDを持つ2台のコンピュータにインストールすることができます。

これらのシステム ID は、ライセンス認証の際に登録されます。

同じライセンスを複数のユーザーが使用することができますが、各ユーザーは自分のアカウントでsmart:gateのフルバージョンを個別にアンロックする必要があります。

システムIDが変更された場合(例：ハードディスクドライブの交換など)、sonibleユーザーアカウントのダッシュボードで、該当するシステムIDの隣にあるプラグインの取り消し/アクティベート(revoke/Activate)を行うことができます。

iLok

1つのアクティベーションをiLokに転送したい場合は、まずプラグインがsonibleユーザーアカウントに登録されていることを確認します。ダッシュボードのプラグインの横にある「transfer to iLok」ボタンをクリックし、指示に従って操作してください。

注意：第1世代のiLokドングルとiLokクラウドは現在サポートされていません。

ロック解除

smart:gateのライセンスをオンラインで購入された方は、ライセンスキーはメールでお送りします。

マシンベースのロック解除

smart:gateを初めて起動すると、有効なライセンスキーでsmart:gateのロックを解除するように求める通知ウィンドウが表示されます。

登録作業を開始する前に、パソコンがインターネットに接続されていることを確認してください。
ライセンスキーを入力して、「register.」をクリックします。
プラグインは、ライセンスが有効かどうかを確認するために弊社サーバーと通信します。ライセンスが有効であれば完了です。お楽しみください！

iLok

ライセンスをiLokに転送した場合は、iLokをパソコンに接続するだけでプラグインは自動的に登録され、お楽しみいただけます！

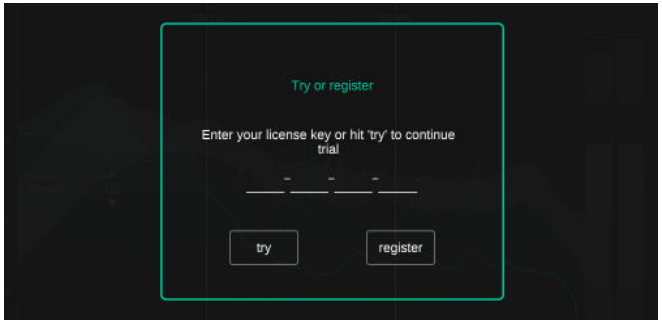
数分以内にメールが届かない場合は、まず迷惑フォルダをご確認の上、弊社サポート(support@sonible.com)までご連絡ください。

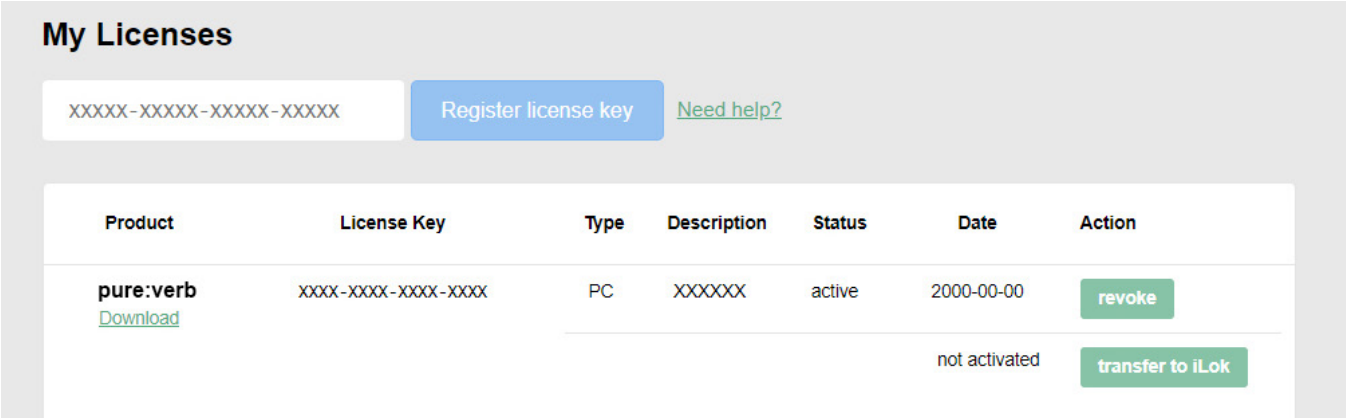
体験版

デモモードでsmart:gateを実行するには、「try」をクリックするだけで、数日間、制限なくsmart:gateを使用することができます。(現在のsmart:gateのデモ期間については、弊社ウェブサイトをご参照ください。)
デモ期間が終了した場合、プラグインを継続して使用するためには正規ライセンスを購入する必要があります

インターネット接続の条件

sonibleプラグインは、試用期間中と最初のライセンス認証時にのみインターネットに接続する必要があります。試用期間中は、プラグインを使用するたびにインターネットに接続する必要があります。プラグインのライセンスが正常にアクティベートされると、インターネット接続は不要になります。





ユーザーインターフェイス

検出とゲートモード
スレッショルドを超えた場合、ゲートを開く(Gatingモード)か、閉じる(Duckingモード)かを選択します。

プロファイルドロップダウン
ドロップダウンメニューで選択したターゲットソースに属する信号成分のみに反応し、その他の信号成分は無視されます。

ステート
最大8つの異なる状態を使用して、設定を簡単に比較できます。

レベルバイアス
レベルバイアススライダーを使用して、レベル依存度をコントロールします。

アクティビティファンクション
アクティビティファンクションは、ターゲットソースの現在の活動状況、またはターゲットが選択されていない場合は入力信号全体の活動状況を表示します。ゲートは、活動状況が選択されたアクティビティスレッショルドを超えた場合のみ開きます。



ゲーティングファンクション
ゲーティングファンクションは、ゲートの処理状態をオープンとクローズの間で表示します。この機能は、パラメータの変更をモニターする際に役立ちます。

ゲートパラメータ
ゲート処理の主要パラメータ(スレッショルド、アタック、リリース)をコントロールします。

入出力信号
濃いグレーの入力信号は、ゲートされていない元の入力信号を示します。薄いグレーの出力信号は、ゲート処理後の信号を示します。

インパクトコントロール
ゲートの全体的な影響をコントロールし、3つの異なる周波数帯域(低、中、高)で微調整できます。

メーターセクション
入力またはターゲット信号のアクティビティ(緑メーター)、ゲートの開閉(赤メーター)、出力レベル(RMS&ピークメーター)をモニターします。

ゲートの設定方法

ゲートは、設定が難しい場合があります。通常、ゲートは入力信号の全体的なレベルを分析し、そのレベルが特定のスレッショルドを超えると開きます。しかし、これは問題を引き起こす場合があります。なぜなら、ゲートを開くべき対象の信号成分と不要な信号成分は、レベルが変動するため適切なレベルのスレッショルドを設定することが難しく、場合によっては不可能になることがあるからです。

対象信号の大きなレベルの部分は、ゲートを正しく開けるかもしれませんが、静かな部分は選択したスレッショルドを下回り、ゲートが閉まってしまう場合があります。一方、対象外の信号(意図しないノイズやクロストークなど)のレベルが時折スレッショルドを超えることで、望ましくないタイミングでゲートが開いてしまうことがあります。

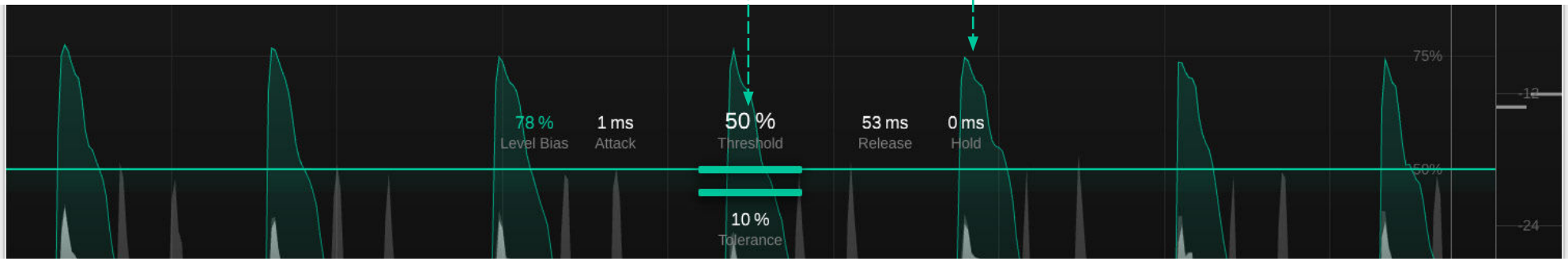
このような問題を回避するためsmart:gateは、選択されたターゲットソースの活動状況にゲートをフォーカスさせます。このプラグインは入力信号をリアルタイムで分析し、ターゲットソースの信号成分のみに反応します。そうすることで、特定のソース(例えばボーカル)が実際に存在するときだけコンテンツに適応したゲートが開き、それ以外は閉じたままになります。

アクティビティスレッショルド

アクティビティスレッショルドは、ゲートがいつ開くか閉じるかを定義します。アクティビティファンクションがスレッショルドを超えると、ゲートはアクティブになります(開きます)。アクティビティスレッショルドは、線を上下にドラッグするか、正確な値を入力することで設定できます。アクティビティスレッショルドの線は、「No Target」が選択されている場合は白で、ターゲットソースが選択されるとすぐに緑に変わります。

アクティビティファンクション

アクティビティファンクションは、ターゲットソースの現在のアクティビティ(緑線)、またはターゲットが選択されていない場合は入力信号全体のアクティビティ(白線)を表示します。アクティビティファンクションのレベル依存度は、レベルバイアスパラメータで制御できます。



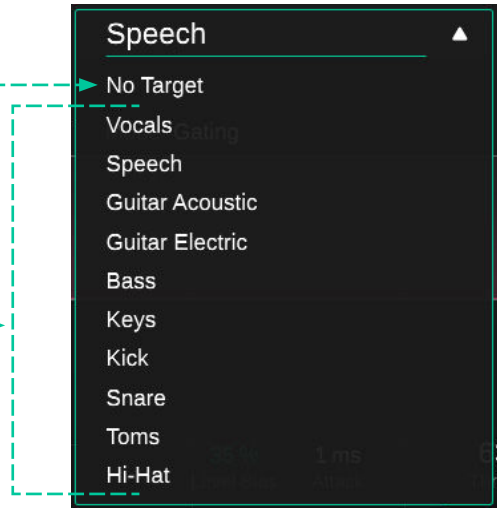
従来型のゲート

smart:gateを開くと、はじめはターゲットソースが選択されていません。ターゲットソースが選択されていない場合、smart:gateは従来のゲートと同様に、入力信号のアクティビティに反応します。この非コンテンツ認識処理モードは、白いアクティビティファンクションとスレッショルドラインによっても示されます(プロファイルが選択されると、これらの要素は緑色に変わります)。

ヒント：従来のゲーティングでは、アクティビティファンクションが全体の信号レベルに追従するように、レベルバイアスパラメータを比較的高い値に設定する必要があります。

ターゲットプロファイルとコンテンツ適応型ゲート

smart:gateをコンテンツ適応型ゲートとして使用するには、プロファイルのドロップダウンからターゲットソースを選択する必要があります。このプロファイルは、smart:gateがどの信号に焦点を当てるかを指示します。タグ付けされたソースが選択されると、アクティビティファンクションは緑色に変わり、ソース信号のアクティビティのみが表示され、その他の信号成分は無視されます。



コンテンツ適応処理の初期設定

プロファイルを選択します。プラグインは、コンテンツ適応処理の初期設定をするために、選択したターゲットソースを探していることを知らせます。

信号の代表的な部分(対象となるソースが存在する部分)に移動し、オーディオ再生を開始します。

smart:gateはターゲットソースの検出を試みます。ターゲットソースが検出されると、プラグインはコンテンツ適応モードで動作します。

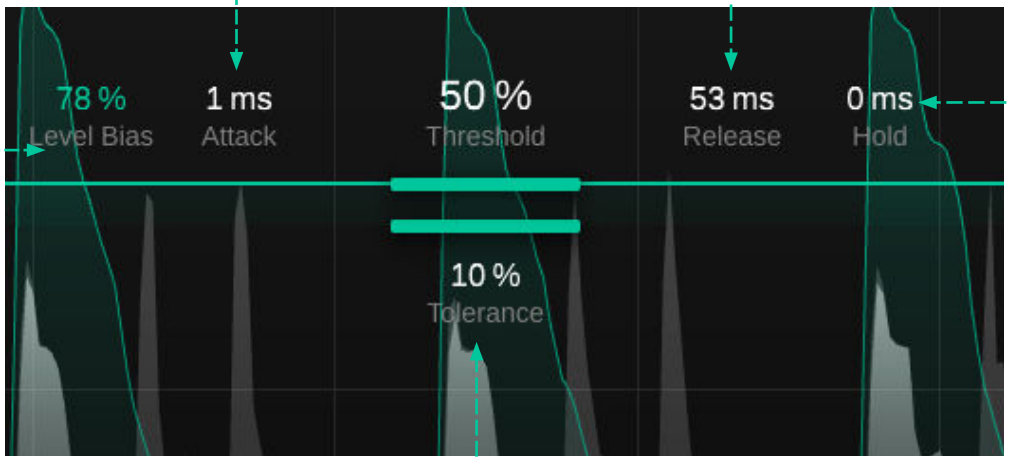
一度初期設定されたプロファイルは、再度初期設定することなく、そのプロファイルに戻すことができます。プロファイルを再び初期設定したい場合は、プロファイルドロップダウンの隣にある小さなアイコンをクリックすることで、初期設定された状態をリセットできます。

ヒント：音源に適したターゲットプロファイルがない場合や、smart:gateがターゲット音源を見つけられない場合は、従来のゲートモードのままで、smart:gateをレベル依存型のゲートとして使用することができます。

ゲートパラメータ

アタック

アタックタイムは、アクティビティファンクションがスレッショルドを超えたときにゲートが開く速さを定義します。ドラムやギターのようなトランジェントな信号には、短いアタックタイムを使用するようにしてください。アタックタイムは、ラベルをドラッグするか、正確な値を入力して設定します。



リリース

リリースタイムは、アクティビティファンクションがスレッショルドを下回った時にゲートが閉じるまでの時間を定義します。リリースタイムが長ければ長いほど、アクティビティファンクションがスレッショルドを下回った後、ゲートが開いている時間が長くなります。

リリースタイムを長く設定すると、信号の短い停止の間にゲートが短く閉まるのを防ぐことができ、リリースタイムを短く設定すると、信号がなくなるとゲートがすぐに閉まるようにすることができます。リリースタイムは、ラベルをドラッグするか、正確な値を入力して設定します。

リリースホールド

リリースホールドタイムは、ゲートがスレッショルドを下回った後、リリースが作動するまでにゲートが完全に開いている時間を定義します。ラベルをドラッグするか、正確な値を入力して、リリースホールド時間を設定します。

レベルバイアス

レベルバイアスは、アクティビティファンクションのレベル依存度を制御します。

- 低レベルのバイアスは、(ターゲット)信号が存在するとすぐに非常に高い値を持つ、ある程度レベルに依存しないアクティビティファンクションをもたらします。これは、信号レベルの変動を無視すべきボーカルや非トランジェント楽器に最適です。

- 高レベルのバイアスは、信号レベルにほぼ追従するアクティビティファンクションになります。ドラムのようなトランジェントな信号を扱う際に、個々のドラムヒットの減衰をコントロールしたい場合は、レベルバイアスを上げると便利です。

トレランス

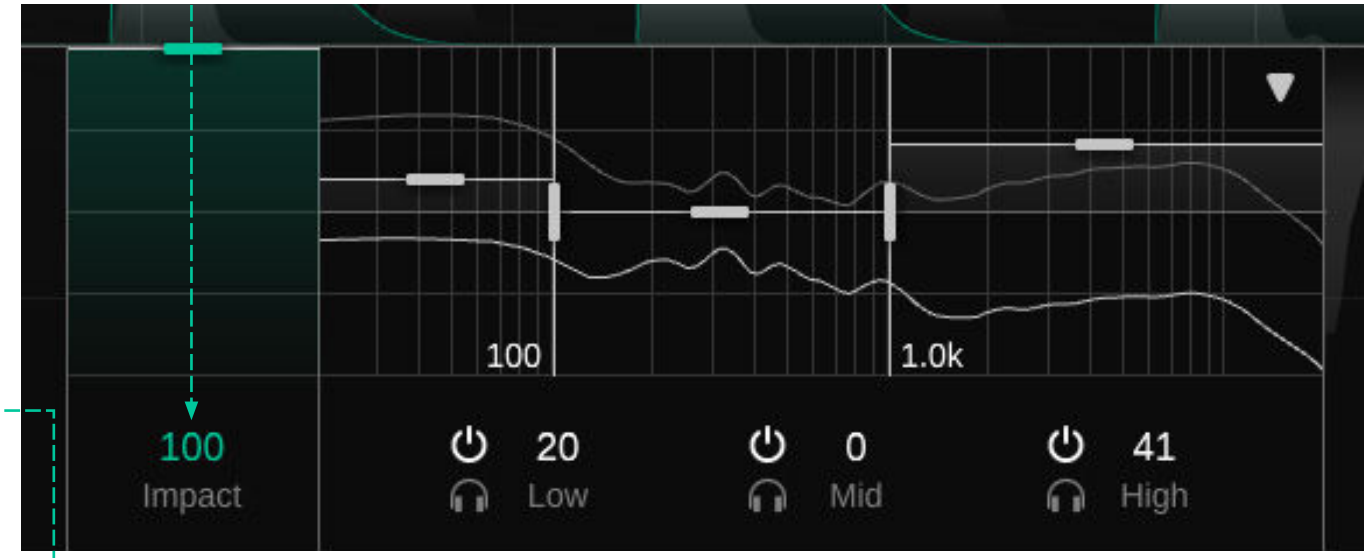
トレランスはゲートの閉状態と開状態の間の遷移領域を定義します。トレランスはアクティビティスレッショルドに対して定義されます。10%に設定された場合、選択されたスレッショルドの90%に達するとゲートは開き始めます。より高いトレランスはゲートのスムーズな開閉につながりますが、ゲートの全体的な反応時間が短くなる可能性があります。線を上下にドラッグするか、正確な値を入力することにより、トレランスを定義することができます。

インパクトコントロール

インパクトコントロール

グローバルインパクトパラメータは、smart:gateの全体的なインパクトをコントロールします。

- 100：ゲートが完全に閉じた状態になります。
- <100：ゲートが閉じた状態でも完全に閉じることはありません。
- 0：ゲートは全く閉じません



バンドサプレッション

低域、中域、高域の3つの帯域のサプレッション値により、これら3つの異なる周波数領域のゲート動作を微調整することができます。異なるサプレッション値を使用することで、ゲートされた信号のサウンドを形作ることができます。

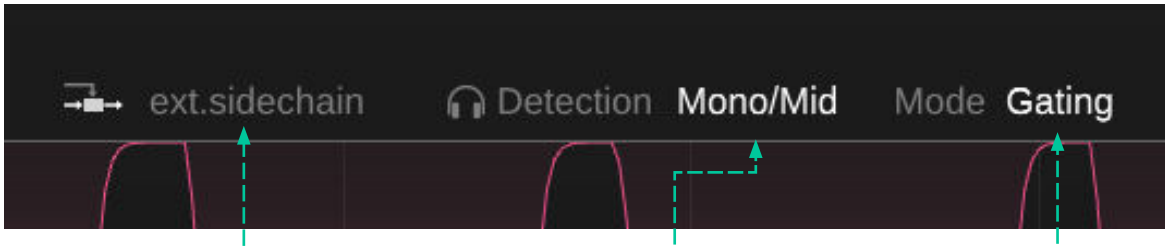
- 正の値は、それぞれの帯域内のサプレッション強度を増加させます。これは、帯域のリリースタイムを短くするのと似ています。最大値まで上げると、帯域は常に抑制されたままになります。
- 負の値は、それぞれの帯域内のサプレッション強度を減少させます。これは、それぞれの帯域内のリリースタイムを長くすることと似ています。

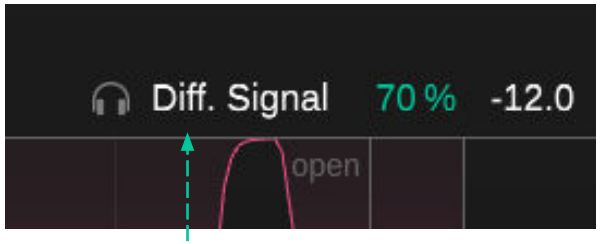
3バンド間のクロスオーバー周波数は、周波数ラインを左右にドラッグすることで変更できます。

各帯域の処理は、有効・無効を設定できます。バンドを無効にすると、そのバンドは処理されません。バンドを無効にすることは、バンドの抑制値を-100%に設定することと同じです。

ソロ機能により、特定のバンドを聞くことができます。

ゲート処理モード





外部サイドチェインとインテリジェントダッキング

外部サイドチェイン信号をゲートに送ることができます。外部サイドチェインを使用すると、インテリジェントダッキングを実装できます。検出モードが「Duking」に設定されている場合(ゲートモード参照)、ターゲット信号はサイドチェイン信号で検出され(例：キック)、その結果得られるアクティビティファンクションを使用して、smart:gateで処理中の信号(例：ベース)をダッキングできます。

検出モード

検出モードでは、信号の分析と処理方法を定義できます。

- モノ：ステレオ入力のモノミックスダウンを分析します。
- サイド：サイド信号のみを分析・処理します。

ゲートモード

ゲートモードは、アクティビティファンクションがスレッショルドを超えたときに何が起こるかを定義します。

- ゲーティング：ゲートはスレッショルドより下で閉じ、スレッショルドより上で開きます。
- ダッキング：ゲートがスレッショルドより上で閉じ、スレッショルドより下で開きます。(ターゲットソースが除去されます)

Diff. Signal

入力信号と出力信号の差を聞きます。Diff. Signalモードがアクティブの場合、信号履歴はデルタ信号を強調表示します。

プリセットとステート

プリセット

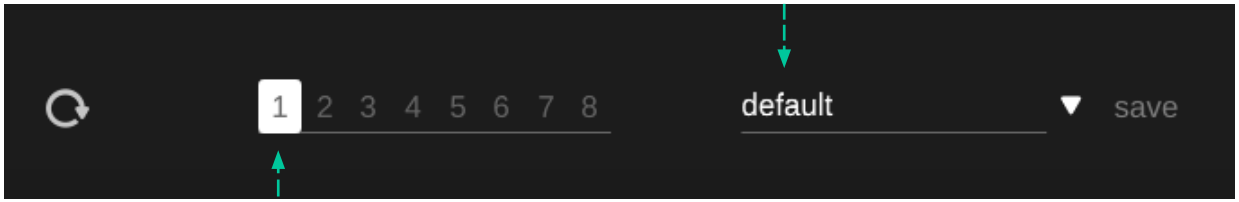
プリセットは、現在ロードされているすべてのリファレンストラックを含むプラグインの設定を保存します。つまり、プリセットを使用して、複数の異なるトラック(アルバムなど)を同じカスタムリファレンスと比較することができます。

- パラメータ設定をプリセットとして保存するには、プリセットドロップダウンの横にある「save」をクリックします。
- 保存したプリセットをロードするには、ドロップダウンからプリセット名を選択します。
- プリセットを削除したり、名前を変更したりする場合は、ローカルのファイルエクスプローラーでプリセットフォルダにアクセスします。

異なるワークステーション間でプリセットを簡単に共有することができます。すべてのプリセットは、以下のフォルダに拡張子「.spr」で保存されます。

プリセットフォルダ

OSX: ~/Library/Audio/Presets/sonible/smartgate
Windows: My Documents\Presets\sonible\smartgate



ステート

ステートを使って、複数のパラメータ設定を保存することができます。ステートは、異なる設定を簡単に比較することができます(多くのプラグインにあるA/B機能に似ています)。

ステートの操作

1. 各ステートは初期状態では空です(smart:gateのデフォルトパラメータ設定)。

2. 各ステートのボタンをクリックして選択します。

3. ドラッグ&ドロップで、あるステートを別のステートに簡単にコピーすることができます。これは、ある設定に対する異なる変更を比較したい場合に便利です。

4. ステートをクリアするには、数字の上にカーソルを合わせ、下に表示されるごみ箱アイコンをクリックします。

設定

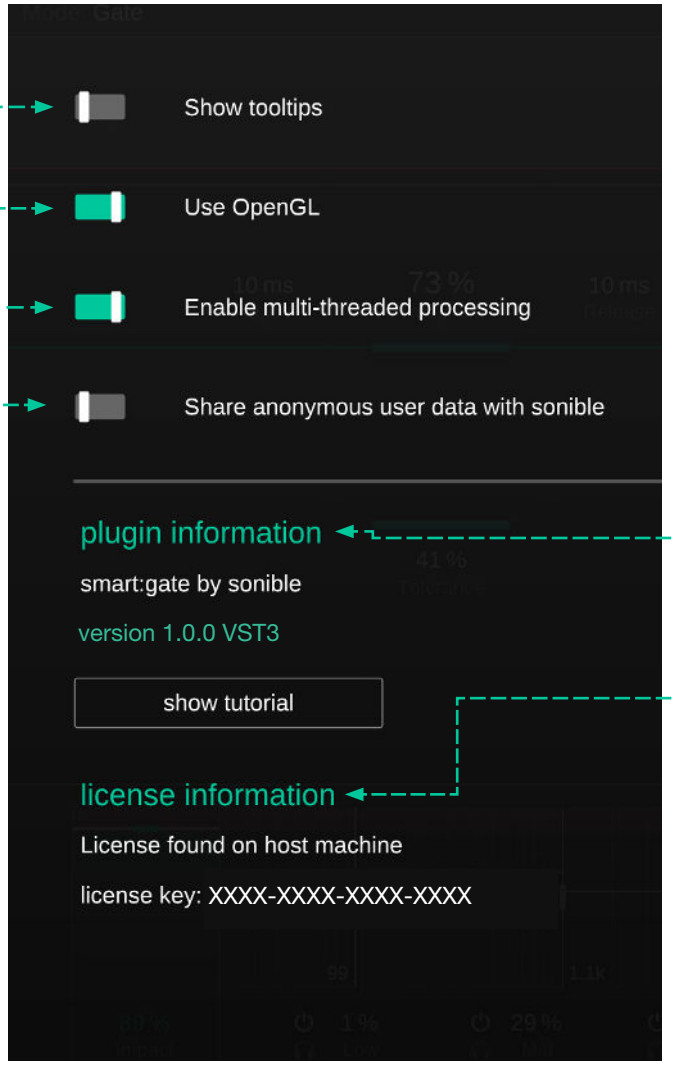
設定ページを表示するには、プラグインの右上にある小さな歯車アイコンをクリックします。

ツールチップを表示
ホバー時のツールチップオンオフを設定します。

OpenGLを使用
OpenGLは、特定のコンピューターハードウェアでレンダリングの問題を引き起こす可能性があります。このオプションを使用してOpenGLを無効にします。

マルチスレッド処理を有効にする
マルチスレッド処理は一般的にCPUパフォーマンスを向上させますが、システムによっては問題を引き起こす可能性があります。AI処理エラーが頻繁に発生する場合は、このオプションを使用してマルチスレッド処理を無効にしてください。

匿名ユーザーデータをsonibleと共有する
完全に匿名化されたユーザーデータをsonibleと共有し、プラグインの改善に役立てることができます。



プラグイン情報
プラグインの名前とバージョンを確認します。「show tutorial」をクリックすると、ウェルカムツアー(プラグインの機能を簡単に説明するツアー)を開始できます。

ライセンス情報
ライセンスの状態とナンバーを確認します(iLokを介してライセンスを取得していない場合)。

更新のお知らせ
プラグインの新しいバージョンが利用可能になると、ここに通知が届き、smart:gateのメインビューの歯車アイコンに小さな点が表示されます。緑色のテキストをクリックすると、最新版がダウンロードできます。

www.sonible.com/smartgate

すべての仕様は、予告なく変更されることがあります。

©2023, sonible GmbH. すべての権利を保有します。オーストリアの
sonible社によって設計・デザインされました。

sonible GmbH
Haydngasse 10/1
8010 Graz
Austria
contact@sonible.com

www.sonible.com